

公募テーマ：

分野

観光

富士山ブランドと地域資源を活かし、
観光業で新たな価値を創出

① 共創課題（キーワード）

観光交流客数、インバウンド対応強化 など

② 課題背景

- ✓ 裾野市は、富士山のふもとに位置し、自然・歴史・レジャーに関する多様な観光資源を有しています。特に富士山の眺望は、市の大きな魅力として発信されており、富士山ブランドを活かした観光誘致の可能性があります。
- ✓ 一方で、観光資源が点在していることから、市内での周遊・回遊、滞在時間の延伸、飲食・宿泊・買い物等への消費拡大につなげる仕組みが不足しています。
- ✓ 裾野市周辺の有力な観光地へ訪問したインバウンド観光客が裾野市に周遊しない等観光交流客数に課題があり、インバウンド対応等を強化する必要があります。

③ 共創で実現したいこと

- ◆ 富士山ブランドを活用した、「裾野市で過ごす理由」を見つけられる観光体験の創出
- ◆ 富士山眺望に優位性ある市北部、十里木エリアの多様な宿泊・滞在ニーズに対応した滞在エリアの創出
- ◆ Woven Cityや駅周辺整備を契機とした、新たな交流人口を市内へつなげる観光・交流の拠点化

④ 取り組みたい実証例

【観光資源を活かしたコンテンツの提案】

⇒ 富士山の麓というロケーションや観光資源を活かした、新たな周遊・回遊ルートを市・企業などと協議・検討することで、観光交流客数増加に向けた提案を募集したい。

【観光農園に関する検討】

⇒ 遊休農地や耕作放棄地を観光農園化することで、土地の有効活用と観光交流客数を増加に向けた取り組みを検討したい。

⑤ キーワード

#富士山ブランド

#観光DX

#体験型観光

#滞在価値の最大化

#周遊

#デジタルマーケティング

#インバウンド強化

#スポーツツーリズム

#MaaS

#広域連携

#観光二次交通

#地域資源の可視化

etc…